

令和2年度 学校関係者評価報告書

学校法人ヒラタ学園大阪航空専門学校では、平成27年度から教育活動について、実施状況を総合的かつ客観的に把握することにより、問題点を明らかにするとともに、PLAN、DO、CHECK、ACTIONというサイクルを実効的なものとするため、「学校自己評価」を実施いたしました。

また、自ら行った「学校自己評価」について、学生の日常関係者、関係業界、教職員から成る「学校関係者評価委員会」（令和3年9月22日・オンライン実施）において評価を実施いたしました。

本委員会では、貴重なご意見やご指導をいただき感謝申し上げますとともに、学校関係者評価につきましては、今後の学校運営の改善、教育の質の向上等、教育活動の充実・強化に取り組んで参ります。

令和3年9月22日

学校法人ヒラタ学園 大阪航空専門学校

校長・学校関係者評価委員長

飛弾 清彦

学校関係者による評価について

1. 学校関係者評価委員

委員氏名	所 属	備 考
久野 嘉一	日本航空技術協会 総務部長	業界団体 関係者
菅田 智裕	CKTS (株) 執行役員	業界企業 関係者
柴谷 国光	(株) Kグランドサービス 総務人事部長	業界企業 関係者
池川 博幸	サンコー・エア・セルテック(株) 人事部長	業界企業 関係者
桑原 利朗	エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン(株) 総務人事部 主席	業界企業 関係者
平田 光弘	学校法人ヒラタ学園 航空事業本部長	学生関係者
小倉 保徳	美采屋 総括マネージャー (学生食堂)	学生関係者
加藤 喜代美	賃貸マンション経営 (学生寮)	学生関係者

2. 学内評価委員

飛弾 清彦 (委員長)	大阪航空専門学校長	学内関係者
真田 佳典	学校法人ヒラタ学園 総務課長	学内関係者

3. 実施要領

学校関係者評価委員会は、「学校自己評価報告書」に対する再評価をお願いするものである旨をお知らせするとともに、事前に学校関係者評価委員の皆様へ「学校自己評価報告書」を送付したうえで、開催することにいたしました。

4. 評価結果の公表

学校関係者評価委員会でいただいた評価は、「学校関係者評価報告書」として取りまとめ、今後の学校運営の改善、教育活動の向上に活かすとともに、インターネット・ホームページ等で公表します。

5. 評価項目毎の学校関係者評価

評価項目に対する学校関係者の評価、ご意見等について報告します。

評価は、4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切として記載します。

5.1 教育理念・目標 評価 3.8 (ほぼ適切)

- ③の「社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか」は評価「3」であるが、「4」ではない理由はあるのか。
 - ・学校の将来については、社会情勢や企業ニーズを把握しながら、これに沿った将来構想を検討するようにしており、将来構想を持っているが、明確に明示されていない部分があるので、「3」としました。
 - ・コロナ禍とコロナ後の社会及び少子化による教育市場の縮小という時代に、学校として勝ち残っていくための進むべき方向を示すため、中期計画として五ヶ年計画の作成を検討します。
- その他に関しては、特に意見等はありません。

5.2 学校運営 評価 3.9 (ほぼ適切)

- ⑥の「業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか」は評価「3」の改善策として、今年度にコンプライアンスマニュアルを作成するとともに、セルフチェックリストを実施中とのことですが、マニュアルの中には「コンプライアンスオフィサー、通報先の明示及び通報者の保護」という項目が入っていますか。
 - ・一部は記載されていますが、不十分であるため、質問された事項については、マニュアルに明記するようにします。
- その他に関しては、特に意見等はありません。

5.3 教育活動 評価 3.9 (ほぼ適切)

- ⑬の「職員の能力開発の為に研修は行われているか」は評価「3」であるが、「4」でない理由はあるか。
 - ・教職員研修は、コロナ禍のため一部オンラインで実施しましたが、十分には実施できなかったため、「3」としました。来年度はオンラインでの研修をより一層取り入れるようにします。
- 基礎学力向上のため GLLACY を導入していることと、英語能力向上のため三学科共通英語の取り組みを実施していることを確認しました。また、教育 IT 化の一環として入学者全員へのノートパソコン等の無償貸与を進めていることも確認しました。非常に良いことだと思います。

- 新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発令され休業要請等が出ることに備えて、オンラインでの授業に対応できる環境づくり及びシステムの構築を進めている状況を確認しました。
- その他に関しては、特に意見等ありません。

5.4 学修成果 評価 3.8 (ほぼ適切)

- ③の「退学率の低減が図られているか」は評価「3」であるが、「4」でない理由はあるのか。
 - ・入学時に進路変更が理由で退学する者については、入学前のオープンキャンパス等で仕事の内容、求められる人物像、業界の現状等を丁寧に説明することがやや不足していたと思われることから、「3」としました。
上記については、丁寧に説明していくようにします。
- その他に関しては、特に意見等ありません。

5.5 学生支援 評価 3.7 (ほぼ適切)

- ⑥の「学生の生活感業への支援は行われているか」は評価「3」であるが、「4」でない理由はあるのか。
 - ・学生環境の支援として、近隣に学生寮（ワンルームマンション）を配置し、生活や通学の利便性を向上させているが、Wi-Fi環境が整備されていないため、「3」としました。
 - ・Wi-Fi環境の整備を検討していますが、寮費を安く抑えるため、及び学生が希望するWi-Fi環境がバラバラで統一が取れないため、現状は各個人に任せています。
- その他に関しては、特に意見等ありません。

5.6 教育環境 評価 4.0 (適切)

- 特に意見等ありません。

5.7 学生の受け入れ募集 評価 4.0 (適切)

- 入学者数が減少している状況は、10年くらい前にJALが破綻した時の雰囲気には似ていると感じています。あの時も、航空業界への就職率が下がったことが影響して航空業界への人気落ち、入学者数が減少したと思います。
今回も、コロナ感染が長引いたせいなのか、航空業界の人気落ちている。「明けない夜はない」といいながらも、残念ながら1年以上たっしまい、ずっと暗闇の中にいます。
- しかしながら、JAL破綻の際は、2年くらいに航空業界が伸び始めると、人手不足という状況になりましたが、それが繰り返されるのではないかと、企業としては懸念しています。
このため、企業としては入学者数を何とか集めて航空業界に来てもらうという部分について、企業として協力できることは協力していきたいと思っています。
- その他に関しては、特にありません。

5.8 財務 評価 4.0 (適切)

- 特に意見等ありません。

5.9 法令等の遵守 評価 4.0 (適切)

- 「学校自己評価」及び「学校関係者評価」は、ホームページ上で公開されていることは確認しています。
- その他に関しては、特に意見ありません。

5.10 社会貢献・地域貢献 評価 3.7 (ほぼ適切)

- ③の「地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか」は評価「3」であるが、「4」でない理由はあるのか。
 - ・ 近隣の高校の求めに応じた航空講座の実施などが、コロナ禍のため実施できなかったので「3」としました。
地域貢献及びボランティアの一環として通学路の清掃及び献血活動への協力を検討します。
- その他に関しては、特に意見等ありません。

6. 総括意見

学生募集及び就職に関してですが、今の1年生については少し好転するのではないかと思っています。

アメリカと比べてワクチン2回目の接種率はそれほど変わらないのですが、アメリカでは「ユナイテッド、アメリカン、デルタの国内線」は、ほぼコロナ禍の前に戻っている状況にありますので、航空業界は必ず元に戻ると思っています。

学生の皆さんは希望を持って勉強していただければと思っております。

以上